

(ご参考資料)

2007年3月27日  
株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

## 博報堂DYメディアパートナーズ、第10回アジア太平洋広告祭でサイバー部門金賞を受賞

第10回アジア太平洋広告祭(アド・フェスト2007)にて、博報堂DYメディアパートナーズ、博報堂が担当した「akarium call」がサイバー部門金賞を受賞しました。

今回の受賞は2003年12月に博報堂DYメディアパートナーズが設立されて以来、初めての受賞となります。

アジア太平洋広告祭は1998年に始まった広告祭で、出品作品をアジア太平洋地域に限定していることからアジア太平洋地域で最も権威のある広告祭の一つ。今年はフィルム、フィルムクラフト、ラジオ、サイバー、コンテイジャス、360、DM、プリント、プリントクラフト、アウトドアの10部門にて行われています。

今回受賞した「akarium call」は、2006年12月から翌年1月にかけて行われ、約1kmにわたる表参道の櫛並木にLEDの塔「akari」を60基設置し、環境にやさしく、新しい和のあかり空間を作り出した「表参道akarium(アカリウム)」(主催:表参道アカリウム実行委員会/商店街振興組合 原宿表参道櫛会)におけるイベントの一つとして企画されたもの。全国どこからでも携帯電話を通じて電話を掛けた方の声に反応して、「表参道akarium」60基全ての「akari」の表情が変わる特別演出が行われるというインタラクティブなイベントです。

- 広告主 商店街振興組合 原宿表参道櫛会
- イベント名 『表参道akarium』(おもてさんどうアカリウム)
- 作品名 「akarium call」
- スタッフ プロデューサー:堀 宏史、林 好文(博報堂)  
企画:齊藤秀一、嶋田三四郎、坂野晋平(博報堂DYメディアパートナーズ)  
クリエイティブディレクター:益田 準也(777interactive)  
コピーライター:木村 元紀(博報堂)  
アートディレクター:長嶋 りかこ(博報堂)  
プランナー:益田 準也(777interactive)  
千房 けん輔(EXONEMO)  
田中 良治(SEMITRANSPARENT DESIGN)  
テクニカル・ディレクター:千房 けん輔(EXONEMO)  
菅井 俊之(SEMITRANSPARENT DESIGN)  
ディレクター:鈴木 啓央(KAYAC)  
デザイナー:神谷 修平、野崎さとみ、道家 陽介(KAYAC)



■この件に関するお問い合わせ先

博報堂DYメディアパートナーズ 経営管理室 広報グループ 加藤 03-6218-9175